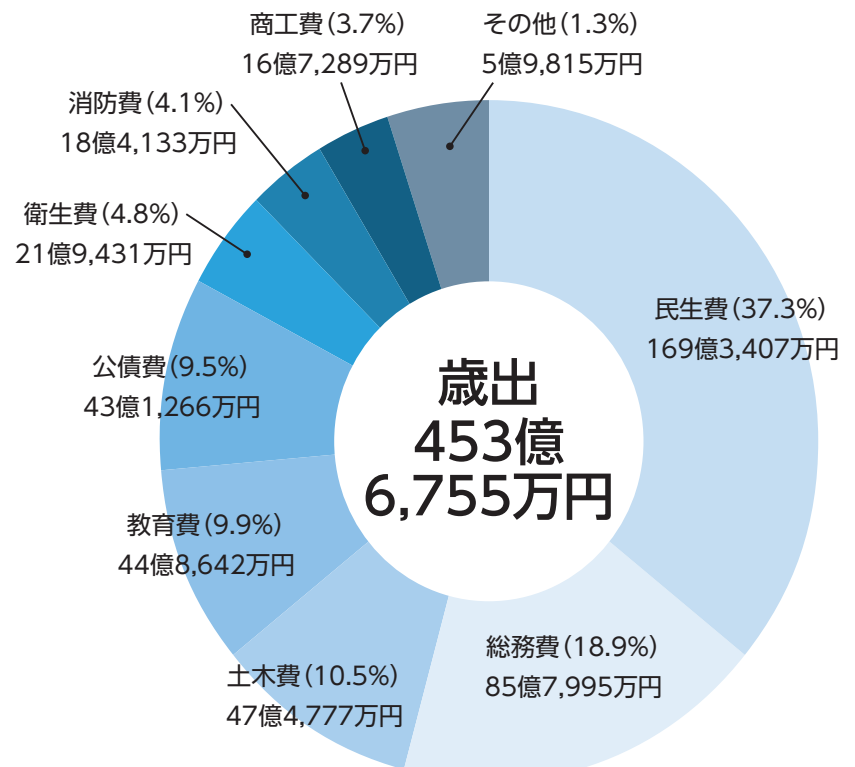
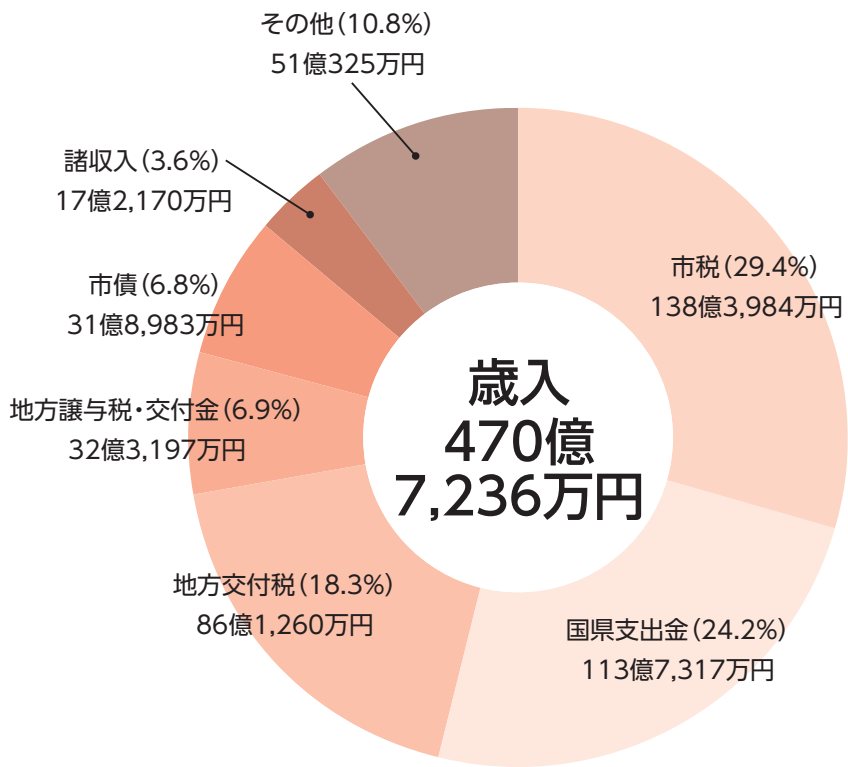


令和4年度 決算の概要

※本文・グラフ・表中の金額や構成比率は、四捨五入をしているため合計などが合わない場合があります。

一般会計

一般会計決算額は、令和3年度と比べて歳入が10億4,755万円の増、歳出が9億1,947万円の増となりました。歳入が増となった主な理由は、個人市民税や固定資産税などの市税やプレミアム付商品券販売代金などの諸収入が増したためです。また、歳出が増となった主な理由は、国の地方創生臨時交付金などを活用し、さまざまな新型コロナウイルス対策や物価高騰対策を実施したためです。



※円グラフのかっこ内は構成比率

- ◆市税…市民の皆さんや市内商店・企業などから納められる税金
- ◆国県支出金…国・県から特定の事業経費として交付される負担金や補助金など
- ◆地方交付税…全国の地方公共団体の税金などの差を考慮し、行政サービスが一定の水準となるよう国から交付されるお金
- ◆地方譲与税・交付金…自動車重量税や地方消費税交付金など、国・県が徴収し、地方に譲与されるお金
- ◆市債…市が道路や施設などの整備をする際に、事業費の一部に充てるため、国や金融機関から借入れるお金
- ◆諸収入…プレミアム付商品券の販売代金や、貸付金の収入、給食費など
- ◆その他…前年度からの繰越金、ふるさと取手応援寄付金、使用料・手数料など

- ◆民生費…保育などの子育て支援、高齢者・障害者に対する福祉など
- ◆総務費…市庁舎の維持管理や税の徴収、交通安全、災害対策など
- ◆土木費…道路・排水・公園などの社会資本整備、都市計画など
- ◆教育費…学校教育、文化・スポーツ振興、教育施設の整備など
- ◆公債費…市が道路や施設の整備を行うために借入れたお金の返済金
- ◆衛生費…ごみの収集、環境対策、予防接種・検診といった疾病予防など
- ◆消防費…消防署・消防団の経費、消防車両・消防設備の整備など
- ◆商工費…商工業振興、消費生活対策、観光事業など
- ◆その他…議会費や農林水産業費、災害復旧費など

特別会計

名称	歳入	歳出
取手駅西口都市整備事業	18億6,865万円	18億4,089万円
国民健康保険事業	115億2,034万円	106億5,561万円
後期高齢者医療	33億6,975万円	33億4,158万円
介護保険	90億8,559万円	87億5,582万円
競輪事業	26億5,739万円	26億405万円
取手地方公平委員会	103万円	11万円

財政の健全化判断比率

指標	令和4年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	12.12%	20.0%
連結実質赤字比率	-	17.12%	30.0%
実質公債費比率	6.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	9.2%	350.0%	

※「-」は赤字額がないことを表します。

財政の健全化判断比率とは



「住み続けるほど好きになる街をつくる!!」



取手市長
中村 修

4月に市長に就任し、私は、「住み続けるほど好きになる街をつくる!!」この思いのもと、市民の方々はもとより、若い子育て世代を中心とした方々が取手市を住まいとして選び、住み続けたい、そのようなまちにしたいと考えています。市では、令和4年度もコロナ対策や物価高対策への対応が続く中、安心して快適に暮らすことができる魅力ある都市空間づくりや若い世代が取手市に住みたいような施策、子育て環境、教育環境の充実を重点的に進めてきました。

特に取手駅西口地区や桑原地区の整備の進捗については、多くの方から関心が寄せられており、私としても未来の取手の活力に繋げていけるよう加速化させていきたいと考えています。

現在、令和6年度の予算編成を進めています。来年度から始まる総合計画、「とりで未来創造プラン2024」のもとにさまざまな事業に取り組んでいくことで、住み続けるほど好きになるまち取手をつくっていききたいと思います。